

国産のバイオマスレジン ライスレジン® での プラスチック試作成形の取り組み

今回はライスレジン®のご紹介

いつもマーケットニュースをご覧いただきありがとうございます。

弊社では日々最新技術のサーチに努めており、今回はライスレジン®のご紹介をさせていただきます。

ライスレジン®とは？

- ・ライスレジン®は、食べられないお米、非食用の「資源米」等を原料としたバイオマスプラスチックです。
- ・オレフィン系樹脂との相溶性がよく、加工適性に優れ、幅広い用途で成形が可能。
- ・バイオマス特有の優しい風合いが特徴で、原料の機能が樹脂に影響し、多様な効果を発揮します。

メリットは？



純国産バイオマスプラスチック…石油相場に左右されない国産バイオマスで安定供給も。

実際に、バイオマス度70のライスレジン®樹脂で、射出成形品で試作をしました。



左がPP(100%)。右がPP:ライスレジン(お米70%)=25:5=83.3%:16.7%の配合で希釈したもので、お米率は11%になります。



マスターバッチ を混ぜて、木質感を出してみました。ライスレジン®の自然な質感も合わさって、より優しい風合いになりました。

ヒンジキャップでも試作してみました。



左がPPにマスターバッチを添加したものにになります。右は先ほどと同様にお米率11%になるよう、PP:MB:ライスレジン=25:1:5=80.6%:3.2%:16.1%で成形しました。写真ではお伝えできないですが、ヒンジキャップのパッチン感も損なわれずに成形できました。微妙にお餅のような匂いがするのも、ライスレジン®ならではです。

アスカカンパニーでは、環境に配慮した樹脂での成形も色々と試しております。

ご協力: 株式会社バイオマスレジン南魚沼
<http://www.biomass-resin.com/>